

「東京都市町村ポッチャ大会」 長谷川 恵二（武蔵野小地区・1期目）

ポッチャとは、近年ますます人気の出てきたパラリンピック競技種目の一つです。前回のリオパラリンピックにおいて、日本が銀メダルを取ったことから、さらに注目を集めるようになりました。

ルールは簡単に説明すると、赤または青の皮製ボールを投げ、白いジャックボール（的球）にどれだけ近づけられるかを競う競技で、ルールがカーリングに似ていることから、「床の上のカーリング」などと呼ばれることもあります。

このポッチャの大会が2月



16日、武蔵野総合体育館で行われました。東京都市町村対抗ということで、私たちは昭島市代表として2チームが参加しました。私のチームの結果は、一勝二敗で残念ながら、予選敗退となりました。

緊張した熱戦が繰り広げられる中、笑顔の絶えない楽しい試合が数多く見られました。うまくいった一投では喜び合い、失敗した一投では、笑い合い（時には叱咤激励し合い）、ミラクルな一投では、チームに関係なくどよめき合い、とても楽しくポッチャを体験することができました。

また今大会では、リオパラリンピックで銀メダルを獲得した廣瀬隆喜選手のエキシビジョンもありました。廣瀬選手の多彩な技の紹介と披露が行われ、観客からは歓声と惜しめない拍手が送られ、とても盛り上がりました。

このように、性別、年齢、障がいも関係なくすべての人たちが楽しめるスポーツであり、ぜひ皆さんも機会があれば挑戦してほしいと思います。



「第65回昭島市新春駅伝競走大会」 小川 智子（共成小地区・2期目）

オリンピックイヤーの2020年1月12日、新春を飾るスポーツとして毎年恒例となった「昭島市新春駅伝競走大会」も、今回の大会で65回を数えました。恒例の駅伝競走大会ですが、今年は令和になって初めての大会ということに加え、コースや競技方法の実施内容が大きく変わったの開催になりました。

コースは昭島駅北側の市内周回コースで、6部門に分かれて行われました。例年に比べ気温は高めで気持ちのよい青空の下、午前8時、中学生女子の部

から各部門別チームが時間差で昭和飛行機工業南工場内から次々とスタートを切りました。中継所となったいちょう並木では、たすきを待つランナーが仲間を呼び大きな声や、苦しうに顔をゆがめながらタスキを渡す姿などが見られました。全チーム共通して感じられたことは、タスキをつなぐことができた安堵感と次を頼むという思いで、流行語大賞にもなったONET EAMを感じる光景でした。

参加されたランナーの皆さんの一生懸命走る姿、楽しそうに走る姿、額の汗を拭いながら沿道の応援に笑顔で応える姿など、どれも素敵な姿でスポーツっていいなあと改めて思う大会でした。

実施要項に大きな変更があった駅伝大会でしたが、大きな混乱、事故、トラブルなどもなく無事終了しました。その後モリタウン・ガーデンステージで表彰式が行われ、チーム名が発表されるたびに喜びの歓声が上がっていました。次回の第66回大会ではどんなシーンが見られるのか、今から楽しみです。